

| ソフトウェア名 | サーバー動作OS | クライアント動作OS | サーバーアシスタント動作OS ^{*1} |
|---------------------|--|--|--|
| Enterprise Postgres | Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server | Windows® Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server | Microsoft® Windows Server® Red Hat Enterprise Linux SUSE Linux Enterprise Server |

各OSのバージョン、その他動作環境の詳細は、製品ホームページをご確認ください。

*1 データベース二重化を利用する場合に使用

機能一覧

PostgreSQLの機能に加え、強化した機能の一覧です。

| 機能分類 | 機能 |
|------------------|------------------------------------|
| 導入・運用 | WebAdmin / pgAdmin |
| | スマートセットアップ™ |
| | Global Meta Cache |
| | Amazon CloudWatchを利用したデータベースの運用監視 |
| セキュリティ | 透過的データ暗号化 |
| | クラウド鍵管理サービス連携 |
| | 機密管理支援 |
| | 監査ログ |
| | 秘匿化 |
| 高性能 | ポリシーに基づいたログインセキュリティの管理 |
| | スケールアウト ^{*1} |
| | 並列検索 ^{*2} |
| | インメモリ機能 |
| | 高速ローダー |
| 高信頼 | 積極的なタプル凍結(VACUUM FREEZE)のスケジュール |
| | バックアップ&リストア (スマートリカバリー™) |
| | 高速バックアップ ^{*1} |
| | WAL二重化 |
| | データベース二重化 (同期反映/自動切替え/スタンバイサーバー参照) |
| | Connection Manager |
| | 災害対策 ^{*2} |
| コンテナ運用 | オペレーター ^{*1} |
| AIアプリケーション開発支援 | 知識データ管理 |
| アプリケーションインターフェース | Java連携/ODBC連携/.NET Framework連携 |
| | 埋め込みSQL連携 (C言語) |
| | 埋め込みSQL連携 (COBOL) |
| | Python連携 |

*1 : Linux版のみの提供です。

*2 : Enterprise Postgresにより機能強化しています。

* PostgreSQLはPostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。
 * Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 * Red Hatは米国その他の国でRed Hat, Inc.の登録商標または商標です。
 * Oracleは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
 * SUSEおよびSUSEロゴは、米国およびその他の国におけるSUSE LLCの登録商標です。
 * Amazon Web Services、AWS、Amazon CloudWatchは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
 * Microsoft Azureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 * 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
 * 本資料に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示(TM、®)を付記しておりません。

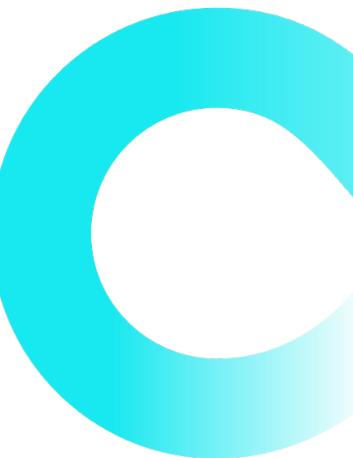
Fujitsu

エンタープライズ ポストgres

Enterprise

Postgres

デジタルビジネスを支える
データベース



お客様のデジタルビジネスを支え、イノベーションを加速

—PostgreSQLをベースに富士通の技術で強化したデータベース—

Fujitsu Enterprise Postgres は、先進技術の取り込みが迅速なオープンソースのデータベースに、富士通の独自技術で機能を強化し、大量かつ形式の異なるデータのセキュアでリアルタイムな活用を実現。ワンストップの保守サポートと合わせて提供し、お客様のデジタルビジネスを支え、イノベーションを加速させます。



Fujitsu Enterprise Postgres



特長

オープンスタンダード

Enterprise Postgres は、OSS（オープンソースソフトウェア）の PostgreSQL をベースとしたデータベースです。PostgreSQL のバージョンアップに追随していくので、OSS による先進技術をビジネスに適用できます。ビジネスプロセスの革新や新ビジネスの創出など、イノベーションの実現に最適なデータベースです。

エンタープライズ利用に求められる機能強化

PostgreSQL は、運用性を高めるチューニングツールや GUI、関連業務システムとのデータ連携を実現する外部データラッパなど、業務への適用範囲を広げるオープンソースの周辺ツールが充実しています。Enterprise Postgres は、これらの周辺ツールを含めて提供するとともに、富士通の技術・ノウハウで PostgreSQL の「セキュリティ」「性能」「信頼性」をさらに強化。利用形態やシーンを問わず、PostgreSQL を安心して導入いただけます。リレーションナルデータやテキストデータに加え、ベクトルデータやグラフデータも一元管理できるため、生成AIにも活用できます。

富士通ならではのサポート

数多くのシステムをサポートしてきたノウハウをもとに、ハードウェアからソフトウェアまでシステム全体を、ワンストップで 24 時間 365 日保守サポートします。PostgreSQL や周辺ツールを含め、問題発生時の修正、確認テストなど、迅速に対応します。サポートは、販売開始から 7 年間、さらに期間延長を希望されるお客様には、延長サポートを提供します。

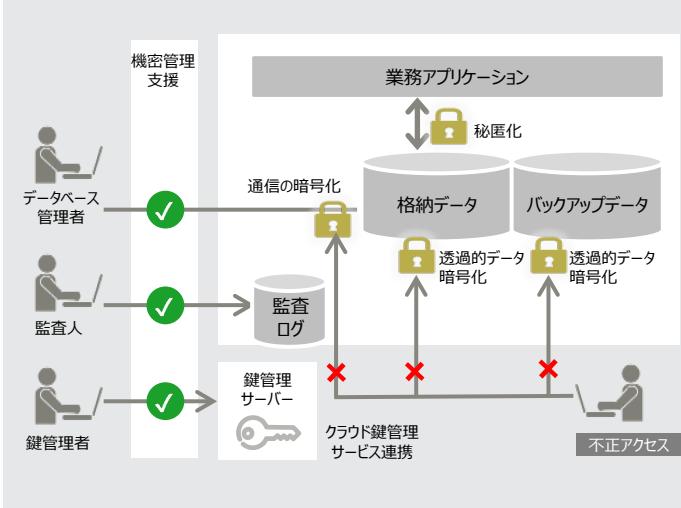
セキュリティ

さまざまな脅威からデータを防御、不正を検出

—透過的データ暗号化・クラウド鍵管理サービス連携—

既存のアプリケーションを修正することなく、データベースの設定だけで、格納データやバックアップデータを暗号化できます。AES*1 暗号アルゴリズムを採用しており、スループットを低下させることなく、暗号化します。また、暗号化キーの保管場所として、クラウド鍵管理サービスまたは Key Management Interoperability Protocol (KMIP) に準拠した外部の鍵管理システムを利用できます。暗号化キーをデータベースの外部に保存することで、データ漏洩のリスクを軽減し、データベース管理者と鍵管理者の役割分担によるガバナンスを向上します。

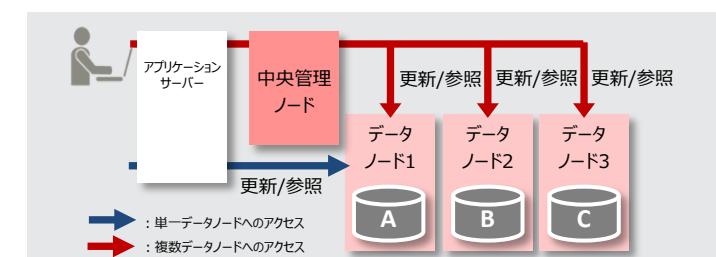
*1 Advanced Encryption Standard の略。米国国立標準技術研究所の共通鍵暗号アルゴリズム



高性能・高信頼

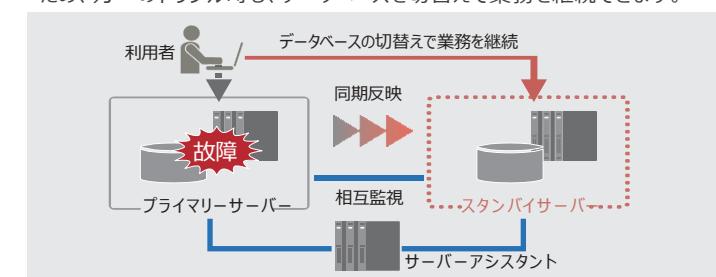
負荷分散による性能向上とマルチマスターを両立 —スケールアウト—

1つのデータベースサーバーでは処理できない大量のトランザクション処理を、複数のサーバーに分散することで性能を向上させます。すべてのノードの整合性を保証し、シェアードナッシング方式でマルチマスター構成を実現します。



万一のトラブル時も確実に業務を継続 —データベース二重化—

2 台のサーバー（プライマリーサーバー・スタンバイサーバー）でデータを同期反映し、データベースを完全二重化します。プライマリーサーバー、スタンバイサーバーおよびサーバーアシスタントが、2台のサーバーの状態を常時監視しているため、万一のトラブル時も、データベースを切替えて業務を継続できます。



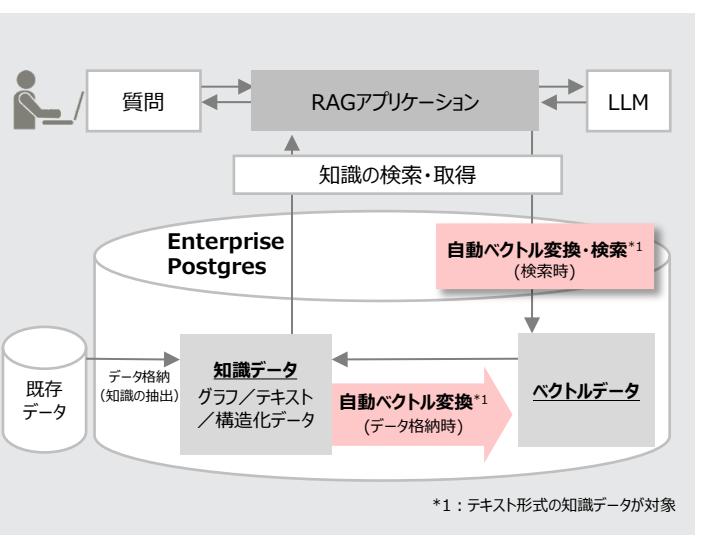
AI

知識データの効率的な管理・活用

—知識データ管理—

RAG (Retrieval Augmented Generation) アプリケーションにおいて、専門知識や最新情報を効果的に活用するための機能です。ベクトルデータやグラフ形式などの知識データを一元的に管理できます。それぞれのデータ種別専用データベースを用意する必要がありません。さらにデータベースの二重化や、アクセス制御、データ暗号化などの機能により、知識データを安全に管理できます。

テキスト形式の知識データを格納する際に、自動的にベクトルデータに変換・更新されるため、ベクトルデータのメンテナンスは不要です。また、検索時には、検索キーワードも自動的にベクトルデータに変換され、類似検索を実現します。これにより、より高度な検索機能を提供し、ユーザーのニーズに応じた情報を迅速に取得することができます。



運用管理

データベース管理者の作業負荷を軽減 —オペレーター—

オペレーターはコンテナ技術を活かしてデータベースの運用負荷を軽減する技術です。オンプレミスからクラウドまで、環境を選ばずにデータベースの運用を自動化することができます。データベース運用で必要な要件定義や設計、インストールやセットアップを富士通のノウハウで定型化し、運用管理（ファイルオーバー / バックアップ / リカバリーなど）を自動化することで、高可用、高信頼を保持したままクラウドでのシステム構築や運用の容易性を実現します。また、性能監視や参照レプリカのオースケールなど、オペレーターによる自動化を拡張することでシステムの安定稼働を強化します。

